

《分科会の日程と討論テーマ》

	第1分科会 みどり	第2分科会 福祉	第3分科会 地域コミュニティ
第10回 1/15 (木) 分科会のみ	公園	高齢者	交通利便性の向上 (公共機関・エコ・体力づくり)
第11回 1/29 (木) 全体会 & 分科会	河川	教育	まとめ (ソフト面のまちづくり)
第12回 2/12 (木) 分科会のみ	農地	男女平等	まとめ (ハード面のまちづくり)
第13回 2/26 (木) 全体会 & 分科会	分科会としての提言作成	分科会としての提言作成	分科会としての提言作成
第14回 3月前半 全体会のみ	提言の中間まとめ (検討)		
第15回 3月後半 全体会のみ	提言の中間まとめ (決定)		

\* 『市民会議だより』のバックナンバーは、下記の稲城市ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.city.inagi.tokyo.jp/shisei/keikaku/yonchou/kaigi/shimingikaidayori/index.html>

《これまでの市民会議だより》

平成20年8月 創刊号 (7月31日開催) ・長期総合計画とは ・市民会議の運営について	平成20年10月 第6号 (10月23日開催) 【全体会・分科会】 ・分科会の進め方 ・各分科会の討論テーマについて
平成20年9月 第2号 (8月20日開催) 【分散会】 ・『今後の稲城市のあるべき姿』について	平成20年11月 第7号 (11月13日/15日開催) 【分科会】 ・第1分科会：森林の保全と管理について ・第2分科会：障害者について ・第3分科会：安心・安全な地域づくりについて
平成20年9月 第3号 (9月11日開催) 【分散会】 ・『将来都市像と基本目標の検討』について①	平成20年11月 第8号 (11月27日開催) 【全体会・分科会】 ・前回の各分科会での討論報告 ・第1分科会：景観 (開発と緑の豊かさ) について ・第2分科会：医療について ・第3分科会：スポーツを通じたコミュニティづくりについて
平成20年9月 第4号 (9月27日/30日開催) 【分散会】 ・『将来都市像と基本目標の検討』について② ・分科会の設置に向けて	
平成20年10月 第5号 (10月9日開催) 【全体会】 ・『将来都市像と基本目標の検討』のまとめ	

\* 市民会議だよりをご覧になって、(仮称)第四次稲城市長期総合計画策定に関し、ご意見等がある方は、ホームページ上の『あなたの声をお聞かせください』からアクセスしていただき、『長期総合計画への提案』より入力フォームに従ってご記入ください。  
<http://www.city.inagi.tokyo.jp/iken/index.html>

次回の市民会議

次回の市民会議は、1月15日(木)の19時から地域振興プラザ で開催いたします。  
分科会を2時間行います。(全体会は行いません。)

—— 詳細は下記問い合わせ先まで ——



稲城の特産品：梨

(仮称)第四次稲城市長期総合計画市民会議 市民会議だより



※お問い合わせ※

稲城市企画部長期総合計画担当  
☎206-8601 稲城市東長沼 2111  
☎042-378-2111 内線 537



稲城の特産品：ぶどう

(仮称)第四次稲城市長期総合計画市民会議

平成20年12月

第9号

市民会議だより



(仮称)第四次稲城市長期総合計画市民会議の第9回会議を12月11日(木曜日)に開きました。  
分科会ごとに作成したテーマに応じて担当する参加者が問題提起し、活発な討論が行われました。  
第2分科会「福祉」グループは都合により、12月13日(土曜日)に会議を行いました。

【第1分科会】市街地のみどりについて

【第2分科会】子育てについて

【第3分科会】産業の振興とまちのにぎわいづくりについて

\* 【(仮称)第四次稲城市長期総合計画市民会議】とは、多様な意見や価値観を有する市民が自発的に参加し、稲城市の将来像など長期総合計画について自由に議論し、合意形成した内容を提言書として取りまとめ、市長に報告する組織です。

## 第9回 市民会議を開催しました



12月11日(木)、地域振興プラザにおいて第9回(仮称)第四次稲城市長期総合計画市民会議を開催しました。それぞれの分科会で活発な議論・意見交換が行われ、約2時間の会議は終了しました。都合により、第2分科会「福祉」のみ12月13日(土)の開催となりました。



### 第1分科会「みどい」

テーマ：『市街地の緑』について



【問題提起者より】

◇基本的な3つの考え方が提案されました

- ①市街地の緑被率50%を目指す。
  - ・全ての地区において宅地と森林・農地が混在している状態
  - ⇒生態系も豊かになる
- ②豊かな生態系を伴った緑地が街中にあるべきだ。
  - ・『豊かな生態系を維持している緑地』を積極的に創出する
- ③緑の景観に寄与する建物づくりを。
  - ・稲城の基礎的な風景：多摩丘陵の緑のスカイライン
  - ・『目に見える緑』を増やしていく

#### \* 進士五十八による『グリーンミニマム』概念 \*

市全体で緑被率を考えるのではなく、任意の地点の半径300メートル以内の緑被率が、市内のどの地点を取りあげても50%以上を維持しているような状態が理想。

【討論内容】

- ・市街地の緑被率50%を確保するために条例を定めるべきだが、それが可能だろうか？
- ・都内で実際に緑被率50%の市町村があるだろうか？

- ・放置された土地は、緑地にすべきだ。
- ・尾根幹線の空き地を、雑木林等にしよう。
- ・街路樹やショッピングセンター内の緑を積極的に増やそう。
- ・壁面・屋上緑化も進めるべきだ。
- ・ベランダ等のプランター設置を推進して、緑視率を上げよう。
- ・学校も積極的に緑化し、教育にも使うべきだ。
- ・学校を一般の人でも使えるようにしてほしい。
- ・雨を地下に浸透させる施設を設けるべきだ。
- ・ビオトープのようなものが欲しい。
- ・建築高の制限を設けるべき。 など

教育

生態系の創出

景観形成

景観の調和

二酸化炭素の吸蔵

など

- ◆ 近隣の市との差別化を図り、稲城市に付加価値をつけよう！
- ◇ 次世代にも緑に親しんで欲しい！
- ◆ 子どもとおとなで遊びながらつくっていきこう！

### 第2分科会「福祉」

テーマ：『子育て』について



【問題提起者より】

◇稲城市として、どのような少子化対策、子育て支援が必要か。

- ・働きたい女性への保育ニーズも考慮し、待機児童問題への取り組み
- ・保育時間の延長も大切だが、働きやすい環境の整備も必要
- ・病児・病後児保育の実現・充実
- ・子育て支援センターの充実と、リフレッシュ保育制度の導入

働く女性、母親専門の双方を支援する環境をつくり、母親だけに育児負担がいかないことが大切。そして、今育っている子どもたちのために、充実した子育て支援を早期に実現させることが必要。

【討論内容】

- ・待機児童問題の解消は、認可保育園を増設し、施設のにも人的にも保育を充実させていきたい。
- ・延長保育については、闇雲な保育時間の延長が果たして良いのか。
  - 父母の仕事も大切だが、次の世代を育てるという観点から子どもの保育をしていかなければいけない。
  - 父親の子育て参加も増えているが、職場環境による。社会全体ではまだまだ理解不足。
- ・保育園の民営化が進み、保育料の格差、保育内容の格差が広がらないか不安。
  - 民営化が何だかわからないまま進められていくのがダメ。そこに不安を感じる。
  - 民営でも素晴らしい保育ポリシーをもって運営している園もある。子どもの権利が守られる民営化であれば良い。
- ・現在市にある子育て支援センターには、多くの相談が寄せられている。しかし、施設も狭く十分な対応が出来る体制が整っていない。
- ・稲城市独自の児童手当、新しいワクチンの予防注射補助など、稲城市独自の子育て支援策も検討してほしい。

- ◆ 子どもの権利を守るという観点に立って、保育園の民営化や延長保育などの多様なニーズに対応していくべき！
- ◇ 総合的な子育て支援センターの設置や、待機児童問題の解消等への取り組みを！

### 第3分科会「地域コミュニティ」

テーマ：『産業の振興とまちのにぎわいづくり』について

【問題提起者より】

◇稲城市内に就労の場の創出が必要なのではないか。

稲城市は東京23区への通勤など市外へ通勤する人たちのベッドタウンになってきている。今後、高齢化が進むと、近くに就労の場を求め人が増えるとみられる。また、稲城市で育った若い人たちの市外への流出も防げるのではないだろうか。

【討論内容】

- ・稲城市に大規模な工場・製造業の立地は今後も難しいし、住民も望まない。
- ・近隣には多く商業施設があり、市内に大規模な商業施設が建設される可能性は少ない。
- ・今後は福祉関係での雇用ニーズが高まるのではないか。
- ・私立高校や教育関係の立地の可能性も検討する必要があるのではないか。
- ・スポーツ・レクリエーションに関する施設と連動して、インストラクター・指導員などを配置することで雇用の増加につながるのではないか。
- ・米軍多摩サービス補助施設について、継続的に返還要請を続けながら、市民に開放する日を増やし、イベント等で利用できるように交渉して欲しい。
- ・援農ボランティアの育成や、収穫時のお祭りなど、各種の交流やイベントの企画も必要ではないか。

- ・現在までの道路整備などの進捗状況や、商業施設等の立地状況を見ると、第三次稲城市長期総合計画の「将来の都市構造図」が実現される方向に進んでいるのか疑問。
- ・平尾地区は市中心部とのつながりが弱い

- ◆ 医療、福祉、教育、観光・スポーツなどのサービス産業での雇用拡大を進めよう！
- ◇ 第三次稲城市長期総合計画の「将来都市構造図」の見直し！



医療・福祉・教育などの分野の雇用拡大の検討

スポーツ・レクリエーション分野の雇用拡大の検討

平尾地区と若葉台地区を結ぶ道路整備の推進

「将来の都市構造図」の見直し